

# はさみ

## 議会だより

No.131

平成27年8月号



ワッショイ ワッショイ!! (水神宮夏まつり)

- **6月定例会** 平成27年度一般会計予算ほか .....P2~4  
一般質問(5議員が登壇) .....P5~7
- **所管事務調査報告** .....P7~9  
(産業厚生委員会、総務文教委員会、企業誘致対策特別委員会)
- **議員活動報告、傍聴者の声、編集後記** .....P10

6月10日から15日まで、6月定例会が開催されました。

平成27年度補正予算をはじめ、平成26年度補正予算、条例改正、繰越明許費の報告など合計12件が上程されました。

平成27年度一般会計補正予算に対しては、付帯決議が提出され、審議をおこなった結果、他案件とともに可決されました。

一般質問では、5名の議員から9項目が提出され、熱い議論を交わしました。(一般質問は5～7ページに掲載しています。)

# 平成27年 6月定例会

## 平成27年度 一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1億円追加し、  
予算総額57億5200万円とする

**歳入の主なもの**

国庫支出金：マイナンバー制度導入事業は28年度完了予定だったが国の方針で29年度へ延長されたことに伴う減。

県支出金：子ども子育て支援整備交付金、27年度継続となった幼稚園長時間預かり保育運営費支援事業費や放課後児童施設整備事業費を計上。

地方債：歴史文化交流館整備事業と4月に発生した林道災害復旧事業への充当分を計上。

歳 入		歳 出	
国庫支出金 ▲	2,970 千円	総務費	3,471 千円
県支出金	30,325 千円	民生費	31,007 千円
繰越金	40,445 千円	農林水産業費	22 千円
町債	32,200 千円	商工費	7,393 千円
		教育費	53,026 千円
		災害復旧費	5,081 千円
合 計	100,000 千円	合 計	100,000 千円

**歳出の主なもの**

商工費：中核人材育成事業ほか、県支出金事業費の増。高齢者を悪質詐欺から守る対応として、電話録音装置購入費を計上。

教育費：小学校のスクールバスに運行料金の見直しで回送運行料が上乗せされたことに伴う委託料の増。

歴史文化交流館整備関係費として、構想策定委託料と土地建物購入費を追加。

学校給食食缶洗浄機について、不具合が深刻なため今年度前倒しして取替えを行う。

**歴史文化交流館(仮称)整備に関する付帯決議※**

波佐見町歴史文化交流館(仮称)の整備関係費の予算計上は、当該施設の必要性が十分認識されていない拙速なものであり、既存建物の改修や将来的な維持管理費に多額の費用がかかることが懸念される。そのため、費用対効果の検証と最小の経費で最大の効果が発揮される予算計画を立て、策定段階から町民の意見を十分尊重し、町民が納得いく形で進めるべきであるとの見解から、以下のとおり付帯決議が提出されました。

平成27年度波佐見町一般会計補正予算(第1号)中、歳出予算に係る波佐見町歴史文化交流館(仮称)の整備基本構想策定業務委託料については、当該施設の必要性など十分町民に認識されていない現状に鑑み、開かれた町政のもと、事業の必要性や施設の維持・管理・運営等について説明責任を果し、基本構想及び建設計画にあたっては専門的な知識人のほか、建設が予定される地域住民、及び郷自治会などの意見、要望など可能な限り計画に反映させるとともに、民間企業の参入等も図り、事業執行されることを求めるものである。

今回、計画が進められる歴史文化交流館が、将来に亘って大きな負担とならないよう、引き続き財政の健全化と自主財源の確保等に努められるよう要望するものである。

以上、決議する。

平成27年6月15日 波佐見町議会

※付帯決議とは…法案・予算案に関して付される、施行についての意見や希望などを表明する決議です。法的拘束力はありませんが、予算執行者はこの決議を尊重することが求められます。



# 平成27年度 特別会計補正予算

- ・国民健康保険事業特別会計(第1号) **20億3161万円**(歳入歳出それぞれ41万円追加するもの)
- ・町営工業団地整備事業特別会計(第1号) **2億1557万円**(歳入歳出それぞれ1億4997万円追加するもの)

# 専決処分／平成26年度一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ2000万円追加し、予算総額57億9200万円とする

**歳入の主なもの**  
 町税…住民税、固定資産税等の徴収額の伸びによる増。  
 地方交付税等の交付金…交付額確定による増。  
 国・県支出金…各種事業実績による精査。  
 地方債…災害復旧事業対象なしによる減と地域活性化事業債の追加。

歳 入		歳 出	
町 税	36,722 千円	総 務 費	101,756 千円
地 方 交 付 税	18,636 千円	民 生 費	▲ 17,930 千円
地 方 譲 与 税	▲ 5,711 千円	衛 生 費	▲ 9,859 千円
地方消費税交付金	▲ 3,625 千円	労 働 費	▲ 64 千円
分担金及び負担金	▲ 2,099 千円	農 林 水 産 業 費	▲ 3,405 千円
国庫支出金	▲ 11,442 千円	商 工 費	▲ 11,042 千円
県 支 出 金	▲ 6,067 千円	土 木 費	▲ 18,220 千円
繰 入 金	▲ 20,000 千円	消 防 費	▲ 948 千円
町 債	6,300 千円	教 育 費	▲ 1,134 千円
その他の収入	7,286 千円	災 害 復 旧 費	▲ 16,817 千円
		公 債 費	▲ 2,337 千円
合 計	20,000 千円	合 計	20,000 千円

## 歳出の主なもの

総務費…余剰金を庁舎建設基金、減債基金、財政調整基金へ積立。  
 民生費から公債費…  
 事業実績による精査。企業誘致奨励金や中小企業支援事業は要望者なし、災害復旧事業は該当箇所なしのため減。道路橋梁費、住宅費農林水産業費等は入札減による減。鴻ノ巣グラウンド改良工事は、防球ネットの安全対策工事を追加。

## 質 疑

Q 中核人材育成事業の進捗状況と今後の進め方は。

A 県、波佐見焼振興会、町で執行部会議を行った。今年は、生地業後継者を3名募集する。6月20日に募集の情報発信を行う。

Q 東幼稚園が認定子ども園に移行する時期は。放課後児童クラブの施設整備事業費の内容と規模、定数は。

A 放課後児童クラブの元気クラブは、東幼稚園の空きスペースを借用し運営していたが、28年4月に東幼稚園が認定子ども園

となり園児が増えるため、別に施設を建設するもの。事業費総額は約3400万円で延べ床面積184㎡の2階建。児童定数は40名。

Q 歴史文化資料館については、最近話が出てきた。今回の予算計上は時期早尚ではないか。

A 以前から波佐見の歴史・文化発進施設の計画はあり、同時に教育委員会分室の老朽化による移転検討をおこなっていた。今回、分室機能に適合した古民家が活用できる可能性が高まったため、整備基本構想策定業務委託料と用地建物購入費を計上した。

Q 整備に関して町民から広く意見を徴する考えはないか。

A 検討委員会の中であらゆる角度から広く意見を募り、委員会の中で改良改善しながら企画案を作っていく。

みんなで考えよう



## 専決処分／平成26年度特別会計補正予算

- ・国民健康保険事業特別会計(第4号) **18億5330万円** (歳入歳出それぞれ 246万円減額するもの)
- ・後期高齢者医療特別会計(第3号) **1億4797万円** (歳入歳出それぞれ1943万円追加するもの)
- ・介護保険事業特別会計(第5号) **11億8471万円** (歳入歳出それぞれ3390万円減額するもの)
- ・公共下水道事業特別会計(第4号) **3億7028万円** (歳入歳出それぞれ4034万円減額するもの)

## 報告案件(平成26年度繰越明許費)

- ・一般会計歳出予算 **2億4000万円** (道路改良事業ほか)
- ・町営工業団地整備事業特別会計歳出予算 **216万円** (町営工業団地改修)

## 条例改正

### 【波佐見町介護保険条例】

介護保険法施行令の一部改正により、一部の被保険者(生活保護世帯など)の保険料算定の基準率が変わります。

### 【波佐見町税条例】

地方税法の一部改正により、以下のとおり改正されます。

- ・軽自動車税…グリーン化特例(軽課)導入で燃料性能に応じ税率が軽減
- ・個人住民税…ふるさと納税の寄付控除(所得割)上限が1割から2割へ拡大、寄付控除申請が一部簡素化
- ・固定資産税…空家等対策特別措置法の勧告対象となった土地は、固定資産税住宅用地特例対象から除外
- ・町たばこ税…旧3級品の特例税率が段階的に廃止
- ・個人住民税に係る還付加算金の起算日の見直し  
…所得税の還付申請がなされた日の翌日から起算して1ヶ月を経過した日の翌日

## 第2回(6月)定例会

# 賛否表

○賛成 ●反対 ーは欠席

議案番号	議案	議決の結果	表決数 賛成:反対	議席番号													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
40	平成27年度波佐見町一般会計予算(第1号)	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	平成27年度波佐見町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	平成27年度波佐見町町営工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	専決処分の承認を求めることについて波佐見町税条例の一部を改正する条例	承認	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	専決処分の承認を求めることについて波佐見町介護保険条例の一部を改正する条例	承認	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	専決処分の承認を求めることについて平成26年度波佐見町一般会計補正予算(第6号)	承認	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	専決処分の承認を求めることについて平成26年度波佐見町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	承認	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	専決処分の承認を求めることについて平成26年度波佐見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	承認	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	専決処分の承認を求めることについて平成26年度波佐見町介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	承認	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	専決処分の承認を求めることについて平成26年度波佐見町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	承認	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議3	平成27年度波佐見町一般会計補正予算(第1号)付帯決議	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



◎自転車専用レーンの整備は  
◎古民家の移築は

中村 與弘 議員

**問** 歩道とは別に、歩道の中に自転車用の通路整備が遅れている状況であり、高校や中学校の自転車通学生の保護の面からも必要と思われるが、拡幅を含め、県へ陳情する考えはないか。

**町長** 通学路の安全確保については、企業などの進出により交通量が増え、混雑・渋滞があっている。特に通勤時は児童・生徒の通学時と重なり、交通事故が心配され、その防止が必要となる。自転車専用レーンを設置するには、新たな道路改良計画や用地などの確保が必要となるので、現段階での計画はない。

県においても厳しい財政状況の中、これまで以上に緊急性や費用対効果を重視し、より効果的な歩道整備を計画的に進めていく必要があると言われている。

本町も今後継続路線の早期完成や未着手箇所早期着工など引き続き要望していく考えである。

**問** 建築後、42年を経過し、雨漏りする木造建築の古民家の買い取りについては、補修を加えるよりも、文教地区へ建設移転する考えはないか。

**町長** 400年に及ぶ波佐見焼の歴史や町内に残る古文書や生活記録資料など貴重な歴史的資料を設備の整った歴史資料館に保管・保護する必要がある。このようなことから、大規模民家が空き家になる見込みであるとの情報を得たので、総合的に判断した結果、購入しようとするものである。

しかし、建築後、相当の年数が経過していることから、建物の一部には、雨漏りや痛みも見られるので、当然、改修は必要となる。

移築には相当の費用や多額の用地取得費を必要とするので、移築しての活用は考えていない。



◎集落営農の支援策は  
◎町民の健康、安心の確保は

松添 一道 議員

**問** 集落営農組合の法人化がすすめられているが、今後集落営農組合が、持続的発展するための支援策は。

**町長** 集落営農活動がさらに活発に展開されるよう、組織リーダーの育成支援、各種情報の提供など、組織の安定的な運営が図られるよう支援していきたい。

**問** 事務的に大変複雑なものがあるが、集落営農組合の健全経営を目指して、今後法人化される組織を含め専門的な係をつくり、支援をするべきではないか。

**町長** 町単独では、なかなか難しいと思う。県で一定の制度をつくっていただければ、それぞれの町がプラスアルファできるのではないかと思う。

そう言う声を反映させて行きたい。

**問** 生活習慣病の予防と早期発見、早期治療のための特定健康診査について、ここ5年間の受診率はどう推移しているのか。

**町長** 特定健診の受診率は平成22年度41・2%、23年度49・6%、24年度50・3

%、25年度43%、26年度は45・7%となっている。受診率目標60%には達していないが、特定健診の重要性を啓発することで受診率向上を図りたい。

**問** 特定健診の受診率を上げるのが、町民の健康を守るためにも、財政的にも必要と思う。国の目標が60%になっているので近づく努力をしてもらいたい。特定健診のステッカーを健康推進課の車だけではなく、出来るだけ多くの公用車に貼り付ける事で、町民への啓蒙になると思うが。

**町長** 今の意見とか、今までやってきた中での、現状分析をして、より受診率が上がるように努めたい。

**問** 学校教育での健康教育はどのように行なわれているのか。

**教育長** 児童生徒1人ひとりが生涯を通して、自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる事を目的に、さまざまな場面を通して、具体的な取り組みを行っている。



◎ホームヘルパーさんの確保を  
◎高齢者の交通対策は  
◎ケーブルテレビに支援を

松尾 道代 議員

**問** 在宅介護で、ホームヘルパーさんに調理をお願いしている方は多い。

厚生労働省が示している基本時間は1回45分で、生活介護のヘルパーさんの仕事は激務。特に短時間での調理は苦手の人が多く、他の要因も重なりヘルパーさんの人材確保が難しい状況にある。

今後、国は在宅介護を進めようとしており、ヘルパーさんの確保は重要。

そこで、民間のお弁当への支援ができないか。見守りと併せ調理部門を担ってもらえたら、ヘルパーさんの仕事の一部が軽減できないか。

**健康推進課長** 業者委託により、ヘルパーさんの労力が軽減され、本来の担うべき専門的な技術が活用できるような方向に向っていただろうと思う。

**問** 乗合タクシーの利用は非常に少なく本町にはなじまないと思うが。

**町長** 最も合理的で経済的な仕組みであると判断している。ご意見は、この制度を理解されていない方で、一方では心からの感謝の言葉

をいただき、苦勞が報われた思いがしたところだ。

**問** 4年目は調査に着手すると聞いていたが、予定は。

**町長** 町の基本方針は現行制度の継続である。近々自治会長を通じて現状の報告と、状況次第では路線の統廃合などを行うことを説明したいと思う。

**問** 「基本は現行制度の継続」の考えだが、並行してタクシーの割引券や路線バスの赤字分を補てんしている年間900万円を高齢者無料券として、西肥バスと交渉できないか。

**町長** 話ができるかどうか検討はしていかねければ、と思っている。

**問** ケーブルテレビは全町の90%が接続可能で、およそ半分にあたる2,150世帯が加入されている。残された周辺部の整備に支援できないか。

**町長** 本来は事業者が進めるべきものと考えているが、町がどこまでどのような支援ができるか研究していく必要があると思う。



◎健康増進施設等の維持・整備充実を  
◎農林業の振興策とその対応は

石峰 実 議員

**問** 多くの町民が自ら積極的に健康づくりに取り組まれ医療・介護費などの抑制や軽減のため努力されている。その実態と支援はどんな状況か。

**町長** ウォーキングや様々なスポーツ大会などへ多くの皆さんが参加され、健康志向や維持に努力されている。町全体の運動として健康づくりを推進していくことが重要であり、先進事例などを参考に研究したい。

**問** 健康づくりに大いに活用されている桜つつみロードなど舗装路面の損傷や桜など樹木の生育遅れが目立つ。健康増進施設として、また観光資源として景観保持と点検に努め、施設の整備・充実を図るべきではないか。

**町長** 舗装路面は経年劣化により相当傷んでいるので、現地調査し1〜2年の間に補修を検討したい。樹木の生育遅れは、改植もしたが十分ではない。観光的にも重要な区間であり厄介な難い。

**問** 住民が活用できる桜つつみロードの東地区への延伸計画は。

**町長** 桜つつみ整備事業も完了しており、現段階では延伸

計画は考えていない。

**問** 農業経営の安定を図る観点から実情に合った参考貸付借料について、農委・農政サイドで協議し、適正な算定と公表開示すべきではないか。

**農業委員会会長** 標準小作料制度は農地法改正により廃止された。農委としても実勢に見合った参考貸付借料の設定を検討している。多くの地域が大幅に引き下げている状況にあり、本町でも早急に対応に努めたい。

**問** 森林施業やバイオマス発電計画に関し課題とされる路網整備について国が100%の助成制度を設け、市町村の要望を取りまとめたと聞く。本町はなぜ要望せず、林業振興に活用されなかったのか。その経緯がどうだったのか。

**町長** 適切な森林施業や路網整備は大変重要な施策と認識している。100%助成事業は森林整備加速化・林業再生事業のメニューだ。国の補正は27年度内事業完了や財源の問題などを考慮し、事業実施は困難との結論に達した。今後、有利な補助などがあつたら実施に向けて検討したい。



## ◎これから進められる 「歴史文化資料館(仮称)」の建設計画は

古川 千秋 議員

**問** 歴史文化資料館(仮称)を活かしたまちづくりを、どう進めるのか。

**教育長** 貴重な文化遺産を保存・公開し、町民や子どもたちが学ぶ歴史教育の場とするとともに、町歩き観光拠点施設としても有効な場となるもの。既存の陶芸の館は町を紹介する施設とし、「鬼木農具資料館」や「橋んきわ資料館(宿郷)」とのすみ分けを行い、特色を活かした施設となるよう努める。

**問** 管理運営などの経費の圧縮、施設総量の抑制を図るなど、また、地域コミュニティを踏まえた利便性を勘案したものとするべきと思うがどうか。

**町長** 施設は、効率的・効果的な配置に努め、歴史に造詣深い方から、関係機関や地域住民の意見を聞き、周辺地域と一体化を図り、地域活性化に繋げる施設としたい。

**問** 建設計画にあたっては、選ばれた人だけでなく、立地地域や自治会など、町民の話をお聴く機会を設けるべ

きと思うがどうか。

**教育長** 町史談会をはじめ、広く町民の方へ周知を図り、建設への理解を頂き、基本構想策定の時点で可能な範囲で参画してもらい、意見を賜りたいと思っ

**問** 建設費の財源はどう考えているのか。

**町長** 補助事業となる事業がないため、起債事業で実施する。

起債対象事業費のうち90%が起債で、後年度、償還額に対して30%の交付税措置がなされるもの。

最終的には町の負担割合は約73%となる見込み。

**問** 教育委員会分室(旧公民館)は取り壊されると思うが、跡地活用は考えているのか。

**町長** 昭和42年に建設されたもので、老朽化が進んでおり、今後の使用は難しいと考えている。

最終的には取り壊すことになるが、跡地の活用については今後、十分検討したい。

## 一般質問

## 所管事務調査報告

### 企業誘致雇用対策特別委員会

5月25日

#### ◆波佐見町営工業団地について

町の企業誘致係は、平成26年度企業立地動向調査のアンケートを企業に送付。結果、1回目(26年4月)送付件数493社、回答件数69社、主に半導体関連、自動車関連、食品関連の九州内の企業、内有望回答企業数9社。2回目は、27年3月、送付件数161社、回答件数14社、有望回答企業数0社だった。また、工場・事務所を設置する際、重視する条件が多かったのは、1番に交通アクセス、インターチェンジがすぐ近くにあること。2番に人材確保の容易性があげられていた。

この事においては、波佐見・有田インターチェンジがあること、近隣の工業高校などが優秀な成績を収めていることから、他の工業団地より優位であると考える。

また、すでに進出が決まった昭和金属工業株式会社については、大変喜ばしいことであり期待している。これは、県産業振興財団での誘致と本町の企業誘致係が全国を飛び回り企業誘致に奔走された努力のたまものと評価している。

今後も県産業振興財団との連携を密にし、残りの用地も一刻も早く誘致できるよう望む。

#### 【企業が進出するための重要条件】アンケート結果(複数回答方式)

5	4	3	2	1
物流コスト	安価な土地・物件	取引先との距離	人材確保の容易性	交通アクセスの利便性
43%	46%	49%	64%	72%



昭和金属工業(株)の進出が決定した町営工業団地

# 所管事務調査報告

## 総務文教委員会

4月14日

### ◆自治会未加入世帯に対する 町情報の周知について

平成27年3月31日においての本町の人口は、15,107人で世帯数は、5,153戸うち約11%の567戸が、自治会未加入である。

現在、町情報の周知については各自治会や町防災無線・町広報紙・町ホームページなどを通じおこなっている。また、ケーブルテレビにおいても情報発信を行っているが、町内の加入状況は42%程度で、情報周知は十分とはいえない。

特に、自治会未加入世帯については、町内のコンビニ8カ所に広報紙を置くなどしてはいるが、十分な情報は伝わっていない。

日常生活に関する社会保障制度などは、全世帯に周知することが求められ、自治会未加入世帯であっても、月1回発行の広報紙については郵送するなど的手段を講じてもらいたい。

### ◆防災行政無線の今後の計画について

本町の防災行政無線については、平成24年度から事業費約3億円をかけたデジタル無線化（庁舎より各自治会のサーバー・一部個別受信機）への改修が行われた。

有線放送の配線の劣化が進み改修の時期を迎えている自治会においては、公民館から各世帯への無線化を検討しているところもあるが、町としては改修間もないことや多額な事業費を要するなど全町的な計画はない。

デジタル無線化については、技術も日進月歩進化し、個別受信機の価格も下がり、他市町村では、無線化がさらに進むものと判断される。

今後、本町においても各自治会の実情を十分把握するとともに、財政状況を考慮して段階的な無線化を進める必要がある。

5月19日

### ◆企画財政課所管のまちづくり等 に対する助成制度について (下表のとおり)

#### まちづくり等に対する助成制度

・波佐見町地域振興事業補助金制度	・波佐見町人づくり・町づくり事業補助金制度	・波佐見町21世紀まちづくり支援事業補助金制度
公民館建設事業 運動場建設事業 有線放送施設設置事業 地域活性化事業 安心安全町づくり事業 など	歴史・伝統・文化・産業などを活かした町づくり事業及び人材育成にかかる事業	県21世紀まちづくり推進総合支援事業に取り組む団体などについて、町が支援する補助金制度（交流支援事業、美しいまちづくり支援事業など）
・波佐見町定住奨励金交付事業制度	・地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金【地方創生事業】	
居住住宅の新築や中古住宅を取得した方への助成。 第2期として平成27～29年度までの3ヵ年実施。	地域消費喚起・生活支援型（交付金額約3,400万円） 「波佐見がんばる券」 「多子世帯支援」 「波佐見に行きたか券」 「波佐見に泊まりたか券」	地方創生先行型（交付金額約3,000万円） 「総合戦略策定事業」 「移住定住促進事業」 「波佐見焼後継者住宅確保事業」 「開業資金支援事業」 「『来なっせ100万人』目標達成事業」など

(その他の調査項目)

### ◆旧公会堂の修復工事計画について

### ◆入札制度について

# 所管事務調査報告

## 産業厚生委員会

4月17日

### ◆西ノ原土地区画整理事業の進捗状況について

事業の進捗率は平成24年度19・5%で27年度は21・6%で一向に進展がない状況である。国への予算要望は25年度8000万円、26年度1億2000万円、27年度2億円と努力はしているが、内示額は25年度4000万円、26年度は4800万円、27年度は5900万円と内示率は低下している。

現状では計画通りの実施は困難であり、行政側が住民に対し十分な説明・協議を重ねなければならない。

5月22日

### ◆包括ケアシステムの取り組みの状況について

団塊の世代が75歳を迎える平成37年には本町の高齢者は約5000人、



西ノ原地区の現地調査

### ◆介護保険料決定の経過について

人口の約3分の1となり、単独世帯や認知症の高齢者などの増加が予想される。その対処として第6期計画（27年度～29年度）で37年度までに介護保険サービスの基盤整備や住宅医療と介護連携の推進・認知症の早期発見・早期対応など町の実情に応じた『地域包括ケアシステム』の構築を図っていく。

要介護（要支援）の認定数は第5期介護保険事業26年度で802人、保険料4900円に対し、第6期介護保険事業29年度には1003人と20%増の

推計であり、保険料5100円となった。それは、認定者数の増加による介護給付費や支援事業費の増大による。なお、総介護給付費は、26年度（見込み）で1億530万円に対し、29年度（推計）で1億4500万円で約38%の大幅増となる。

#### 【まとめ】

国も介護事業は限界を感じており、各市町村に見合った『地域包括ケアシステム』の構築を推進している。

本町では、生涯現役社会の実現と多様な組織による支援体制などの強化が必要である。「シルバー人材センター」や「有償ボランティア」など今後期待される。



庁舎内にある地域包括支援センター

# 議員活動報告

- 6 月**
- 10日 町議会第2回定例会（～15日）
  - 9日 長崎県議長会臨時総会（長崎市）
  - 7日 西九州自動車道建設促進期成会総会（佐世保市）
  - 3日 東彼杵郡議長会臨時総会（東彼杵町）
  - 1日 長崎県新幹線・鉄道利用促進協議会、空港活性化推進協議会、上海航路利用促進協議会合同総会（長崎市）
- 5 月**
- 1日 陶祖祭
  - 19日 西九州自動車道建設促進期成会定期総会（伊万里市）
  - 14日 交通安全祈願祭
  - 11日 自衛隊父兄会大村東彼杵地区協議会定期総会（東彼杵町）
  - 15日 建設業振興会総会
  - 19日 全員協議会
  - 22日 総務文教委員会
  - 25日 産業厚生委員会
  - 28日 議会運営委員会
  - 29日 企業誘致雇用対策特別委員会
  - 28日 シルバー人材センター定期総会
  - 29日 全員協議会

- 7 月**
- 28日 東彼杵地区保健福祉組合先進地視察（～29日大分県）
  - 23日 総務文教委員会行政調査（～24日福岡県、熊本県）
  - 17日 東彼杵郡森林組合総代会（川棚町）
  - 16日 議会広報委員会
  - 14日 総務文教委員会
  - 13日 全員協議会
  - 10日 波佐見温泉振興会総会
  - 9日 議会広報委員会
  - 6日 長崎県町村議会議員研修会（長崎市）
  - 9日 長崎県町村議会議長会議（小値賀町）
  - 3日 東彼杵郡町村会肉牛共励会（佐世保市）
  - 3日 西九州北部地域開発促進協議会総会及び特別講演会（伊万里市）
- 6 月**
- 15日 議会広報委員会
  - 19日 総務文教委員会
  - 24日 陶磁器工業組合創立80周年記念式典
  - 24日 観光協会総会
  - 25日 議会運営委員会
  - 26日 産業厚生委員会
  - 28日 インディアカ交流大会・リハーサル大会
  - 3日 議会広報委員会

## 傍聴者の声

今回、町老連女性部会で議会の傍聴を望む声が多くあり、二十二名全員で傍聴させていただきました。有線テレビや議会だよりで見たりしておりましたが、直接議場で聴くのは初めてで傍聴席に入る前は緊張していました。

でも、一般質問で議員の方が質問されますと、私達にも身近な事項で真剣に聞き入って、中には質問の内容がよく判らないこともありましたが、町政に対する意識が持てたことを感じました。

高齢化が進み波佐見町でも六十五歳以上が町民の二十七・五パーセントを占めているとのことで、厳しい財政に少しでも負担をかけないように元氣老人を目指したいと思いました。

最後に、町議会が元気で明るい波佐見町を目指し、ますます活発な議論の場となりますよう願っています。

波佐見町老人クラブ連合会  
女性部会 会長 山口マリ子

### 議会の傍聴に きませんか？

※日程はHPや町内放送でお知らせします。



## 平成27年第3回定例会は9月初旬からの予定です。

### 編集後記

今年で70年目の終戦記念日を迎えました。

国では、安保法案についての議論が活発に行われています。

戦争を経験したことがない世代が多くなっている現在、ご家庭でも平和について話合ってみるいい機会ではないでしょうか。

さて、9月議会は平成26年度の町の施策を振り返る決算審議があります。どんな施策が有効だったか、何が足りなかったのかなど、議論を通して掘り下げていきます。

皆さんも議場に足を運んでいただき、一緒に考えてみませんか。

議会に対する皆さんのご意見・ご要望をお聞かせください。

議	長	川	田	保	則
委員	長	尾	上	和	孝
副委員	長	百	武	辰	美
委員	長	今	井	泰	照
委員	長	石	峰	尊	行
委員	長	中	尾	尊	行

### 議会広報調査特別委員会

